

報道関係各位

2025年11月吉日
「スマート・ライフ・プロジェクト」事務局

『第14回 健康寿命をのばそう！アワード』開催報告

＜介護予防・高齢者生活支援分野＞＜生活習慣病予防分野＞」最終審査・表彰式を実施 健康寿命延伸に向けた優れた取り組みを顕彰

厚生労働省及びスポーツ庁は、令和7年11月26日（水）、日経ホール（東京都千代田区）にて、「第14回 健康寿命をのばそう！アワード」（介護予防・高齢者生活支援分野／生活習慣病予防分野）の最終審査・表彰式を開催いたしました。本アワードは、生活習慣病の予防や介護予防など、国民の健康寿命延伸に資する優れた取組を行う企業・団体・自治体を顕彰するものです。全国から寄せられた応募の中から、各分野における最優秀賞・優秀賞・優良賞などが決定されました。



「第14回健康寿命をのばそう！アワード
＜介護予防・高齢者生活支援分野＞」記念撮影



「第14回健康寿命をのばそう！アワード
＜生活習慣病予防分野＞」記念撮影

表彰式では、厚生労働省 健康・生活衛生局長 大坪 寛子 氏およびスポーツ庁スポーツ総括官 大杉住子氏より各賞の授与が行われ、受賞団体の代表者へ表彰状が手渡されました。

■ 第一部：介護予防・高齢者生活支援分野

地域包括ケアの推進に資する活動が多数応募され、審査の結果、厚生労働大臣 最優秀賞には川越市地域包括支援センター中央ひがしの『地域のお散歩地図・ポイ活「ここえどマップとここえどカード」』の取組が受賞されました。

■ 第二部：生活習慣病予防分野

生活習慣病の予防や健康増進に向けた企業・自治体・団体による取組を対象に、書類選考および最終プレゼンテーションを経て各賞が決定されました。

厚生労働大臣 最優秀賞は、西会津町の『さすけねえ輪で変える！高齢化率50%の町 健康共創プロジェクト』が受賞されました。厚生労働大臣 優秀賞には、企業部門から大分県信用組合、団体部門から医療法人社団 健裕会中谷病院、自治体部門から雲南市が選ばれました。また、特にスポーツ・運動を通じて優れた取組を行うスポーツ庁長官 優秀賞には、企業部門でグローバルシステムズ株式会社、団体部門で公益財団法人日本ゴルフ協会、自治体部門で山形県上山市が受賞されました。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】
『スマート・ライフ・プロジェクト』PR事務局

担当：廣内、服部、杉浦
TEL：070-4303-7348 MAIL：info@smartlife.go.jp

■主催者挨拶



厚生労働省 健康・生活衛生局長 大坪 寛子氏

主催挨拶として、健康・生活衛生局長 大坪 寛子氏が登壇され、最優秀賞の西会津町をはじめ受賞者へ祝意を述べました。健康寿命の延伸が進む一方、生活習慣病が増加している現状に触れ、予防・健康づくりの推進が重要であると強調しました。さらに、行政だけでなく地域や民間との連携が不可欠とし、スマート・ライフ・プロジェクトの拡大に期待を表しました。また「受賞を契機に健康づくりの取り組みが一層広がることを願い、厚生労働省として引き続き全国的な健康増進に取り組んでいきます。」と語られました。

■ 特別トークショー



ハリー杉山氏（中左）、白濱龍太郎氏（中右）
ナイトキャップをかぶったピカチュウ・カビゴン

本年度は生活習慣病予防分野の最終審査の間、「睡眠」をテーマにした特別トークショーを開催いたしました。ステージには、タレントのハリー杉山氏、日本睡眠学会指導医、日本睡眠学会総合専門医、日本スポーツ協会認定スポーツ医の白濱龍太郎氏、そして睡眠応援大使のナイトキャップをかぶったピカチュウ・カビゴンが登壇。睡眠と健康の関係、睡眠時無呼吸症候群のリスク、日本の睡眠時間の課題を解説。ハリー杉山氏は自身の体験から睡眠の重要性を語り、観客へ“睡眠を生活の優先事項に”と呼びかけました。

■講評



東北大学大学院 医学系研究科 名誉教授・
客員教授 評価委員長 辻 一郎 氏

最後に、東北大学大学院 医学系研究科名誉教授・客員教授 辻一郎評価委員長より受賞者への講評をいただきました。「皆様の取り組みは、今回応募された 103 件の頂点に立つにふさわしい、画期的で魅力的な取り組みばかりでした。特に最優秀賞をはじめ各賞受賞者の先進性を称え、成果を地域・職域へ広げ、全国、さらには世界へ発信してほしいと述べました。また、こうした取り組みが全国へ波及し、健康寿命延伸と健康格差縮小につながることに期待を示します。」と述べられました。

<第14回 健康寿命をのばそう！アワード 表彰式>概要>

- 日時：11月26日（水）第一部：11：30～12：30（介護予防・高齢者生活支援分野）
第二部：14：30～17：00（生活習慣病予防分野）
- 会場：日経ホール（千代田区大手町1丁目3-7 日経ビル 3階・4階）
- 主催：厚生労働省 / スポーツ庁
- 登壇者：第一部「介護予防・高齢者生活支援分野」

～評価委員～

田中 滋 氏 公立大学法人埼玉県立大学 理事長

～表彰者～

林 俊宏 氏 厚生労働省 老健担当審議官

第二部「生活習慣病予防分野」

～評価委員～

辻 一郎 氏 東北大学大学院 医学系研究科 名誉教授・客員教授

杉山 雄大 氏 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所

糖尿病情報センター 医療政策研究室

国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター(iGHP)

津下 一代 氏 女子栄養大学 教授

中村 正和 氏 公益社団法人地域医療振興協会

地域医療研究所へき地医療研究センター アドバイザー

樋口 毅 氏 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 理事

株式会社ルネサンス 執行役員 健康価値共創部長

丹藤 昌治 氏 厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課長

中村 宇一 氏 スポーツ庁 健康スポーツ課 課長

渡邊 周介 氏 厚生労働省 老健局 老人保健課 介護保険データ分析室長

～表彰者～

大坪 寛子 氏 厚生労働省 健康・生活衛生局長

大杉 住子 氏 スポーツ庁 スポーツ総括官

～トークセッション ゲスト～

白濱 龍太郎 氏 日本睡眠学会指導医、日本睡眠学会総合専門医、
日本スポーツ協会認定スポーツ医

ハリー杉山 氏 タレント

ナイトキャップをかぶったピカチュウ・カビゴン 「睡眠応援大使」

- お知らせ：表彰式の様子は、YouTubeにてアーカイブ配信を行います。

「健康寿命をのばそう！Smart Life Project スマート・ライフ・プロジェクト」

YouTubeアカウントよりご視聴ください。

ご視聴はこちら：<https://youtube.com/live/FhkH17qc32U>

<参考>

「健康寿命をのばそう！アワード」とは

「スマート・ライフ・プロジェクト」が掲げる6つのテーマ（適度な運動・適切な食生活、禁煙、健診・検診の受診、良質な睡眠、女性の健康）について、生活習慣病予防の啓発や健康増進のための優れた取組を行っている企業・団体・自治体を表彰いたします。

「スマート・ライフ・プロジェクト」とは

「健康寿命をのばそう！」をスローガンに、国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした国民運動。プロジェクトに参画する企業・団体・自治体と協力・連携しながら、運動、食生活、禁煙、健診・検診の受診、睡眠、女性の健康について、具体的なアクションの呼びかけを行い、更なる健康寿命の延伸を推進しています。<https://kenet.mhlw.go.jp/slp/>

■「第14回 健康寿命をのばそう！アワード」 受賞者

<生活習慣病予防分野>

従業員や職員、住民に対して、生活習慣病予防の啓発、健康増進のための優れた取組をしている企業・団体・自治体から計103件の応募を受け、有識者からなる評価委員会による書類選考及び表彰式当日のプレゼンテーションを実施し、厚生労働大臣最優秀賞1件、厚生労働大臣優秀賞3件、スポーツ庁長官優秀賞3件、厚生労働省健康・生活衛生局長優良賞13件を決定しました。

▼厚生労働大臣賞

表彰名	企業・団体・自治体名	取組タイトル
厚生労働大臣 最優秀賞	西会津町	さすけねえ輪で変える！高齢化率50%の町 健康共創プロジェクト
厚生労働大臣 優秀賞 企業部門	大分県信用組合	地方創生の観点から、金融を通じた大分県民の健康寿命延伸
厚生労働大臣 優秀賞 団体部門	医療法人社団 健裕会 中谷病院	医療×フィットネスコンソーシアムが拓く新しい生活習慣病改善サポートモデル
厚生労働大臣 優秀賞 自治体部門	雲南市	マーケティング×地域ぐるみで進める身体活動促進のポピュレーション戦略

▼スポーツ庁長官 優秀賞

表彰名	企業・団体・自治体名	取組タイトル
スポーツ庁長官 優秀賞 企業部門	グローバルシステムズ株式会社	The Flow×BCC：立って楽しく鍛える 測って伸ばそう健康寿命
スポーツ庁長官 優秀賞 団体部門	公益財団法人日本ゴルフ協会	ゴルフで健康寿命をのばそう！ 「JGA WAGスクール」
スポーツ庁長官 優秀賞 自治体部門	山形県上山市	市民と築く健康未来 「楽しく、お得に、健康になろう」かみのやま健康ポイント事業

▼厚生労働省 健康・生活衛生局長 優良賞

表彰名	企業・団体・自治体名	取組タイトル
厚生労働省 健康・生活衛生局長 優良賞 企業部門	東京都チャレンジプラス TOPPAN 株式会社	多くの障がい者が、健康な身体を維持・向上させ、ワーク&ライフバランスを充実させる
	旭化成ホームズ株式会社 シニア事業本部	自立～フレイルシニアを対象とした賃貸住宅における健康長寿の取り組み
	株式会社 高館組	「あたりまえ」をやれることからやってみるプロジェクト2025 ～工夫と継続～
	株式会社WONDER未来図	毎回170人が通う！みまたフィットネス教室「びしゃトレ」で健康寿命延伸！
	オムロン ヘルスケア株式会社	社員の喫煙ゼロと、社会課題である受動喫煙のない社会を目指した取り組み
厚生労働省 健康・生活衛生局長 優良賞 団体部門	全国土木建築国民健康保険組合	お口の健康から始める全身の健康づくり
	ヤマトグループ/ヤマトグループ健康保険組合	「子どもまんなか！」 子どもを基点に家族ぐるみで取組む「生き生き健康家族」の作り方
	ReFF 福井大学研究ファーム・大西ファーム	あふれる健幸！フレイル予防&元氣アップ教室 ～みんなでのばそう元氣寿命～
	全国健康保険協会沖縄支部	ゆいまー 働き盛り世代の健康課題改善に向け「うちなー健康経営宣言」支える連携
厚生労働省 健康・生活衛生局長 優良賞 自治体部門	福井県坂井市	「へるしお（減塩）オトナの自由研究」～気づきから行動変容、そして継続まで～
	高松市	市民の健康寿命の延伸を目指したCOPDの早期受診・早期治療のための取組
	横須賀市市民局健康部健康増進課	【新・デレラ大作戦】～若い女性をターゲットにした「やせすぎ注意」動画作成～
	坂出市	既存事業を活用した健康無関心層へのアプローチ ～届けたい人に届く施策への転換～

<介護予防・高齢者生活支援分野>

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の実情に応じた優れた取組を行っており、かつ、それが**住民主体**の取組の喚起に資するような活動を行っている企業・団体・自治体から 43件の応募を受け、有識者による評価委員会で審査・選出された取組事例から厚生労働大臣最優秀賞1件、厚生労働大臣優秀賞3件、厚生労働省老健局長優良賞11件の表彰を行いました。

▼厚生労働大臣賞

表彰名	企業・団体・自治体名	取組タイトル
厚生労働大臣 最優秀賞	川越市地域包括支援センター中央ひがし	地域のお散歩地図・ポイ活 「ここえどマップとここえどカード」
厚生労働大臣 優秀賞 企業部門	喫茶 笑々流（えーる）	憩いと交流の場 笑々流（えーる）
厚生労働大臣 優秀賞 団体部門	湯沢町総合型地域スポーツクラブ ユースポ！	スポーツの力で笑顔あふれるまちづくり
厚生労働大臣 優秀賞 自治体部門	四日市市健康福祉部高齢福祉課	「必要な人に、必要な支援を」 サービス・活動C（サービスC）の集約によるリエイブルメントと地域再接続の実現

▼厚生労働省 老健局長 優良賞

表彰名	企業・団体・自治体名	取組タイトル
厚生労働省老健局長 優良賞 企業部門	合同会社MARUDOT	〇〇ついでに健康増進！ ～「お買い物」「旅館（温泉）・カフェ」を巻き込む健康づくり～
	株式会社さんびる	松江市一般介護予防事業「からだ元気塾」
厚生労働省老健局長 優良賞 団体部門	社会福祉法人 安積福祉会 本宮市白沢地域包括支援センター	チルコロカフェ ～地域をめぐり誰もが集える新しい場所～
	チームあおぞら	青空カフェ
	コスモスの会	一人じゃない。仲間と作る笑顔の空間 ～世代を超えてつながる地域づくり～
	特定非営利活動法人 おでかけクラブ	おでかけクラブ
	近所のつどい	近所のつどい
厚生労働省老健局長 優良賞 自治体部門	釜石市 市民生活部 まちづくり課 平田地区生活応援センター	つながるカフェ
	山武市保健福祉部高齢者支援課	山武市転倒骨折予防プロジェクト ～生活機能測定からつながる・効果がみえる・自信になる介護予防～
	輪之内町地域包括支援センター	住民がつくる体操お出かけの日！「知るリハステーション」に集まれ！ ～行動経済学的視点を活かしたフレイル予防の住民主体活動～
	宇部市健康福祉部高齢福祉課	宇部市立第二人生高校男子校